

けいはんな情報通信オープンラボ
研究推進協議会

運営・研究部会活動報告・計画

平成21年4月28日（火）

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

事務局

平成20年度活動トピックス

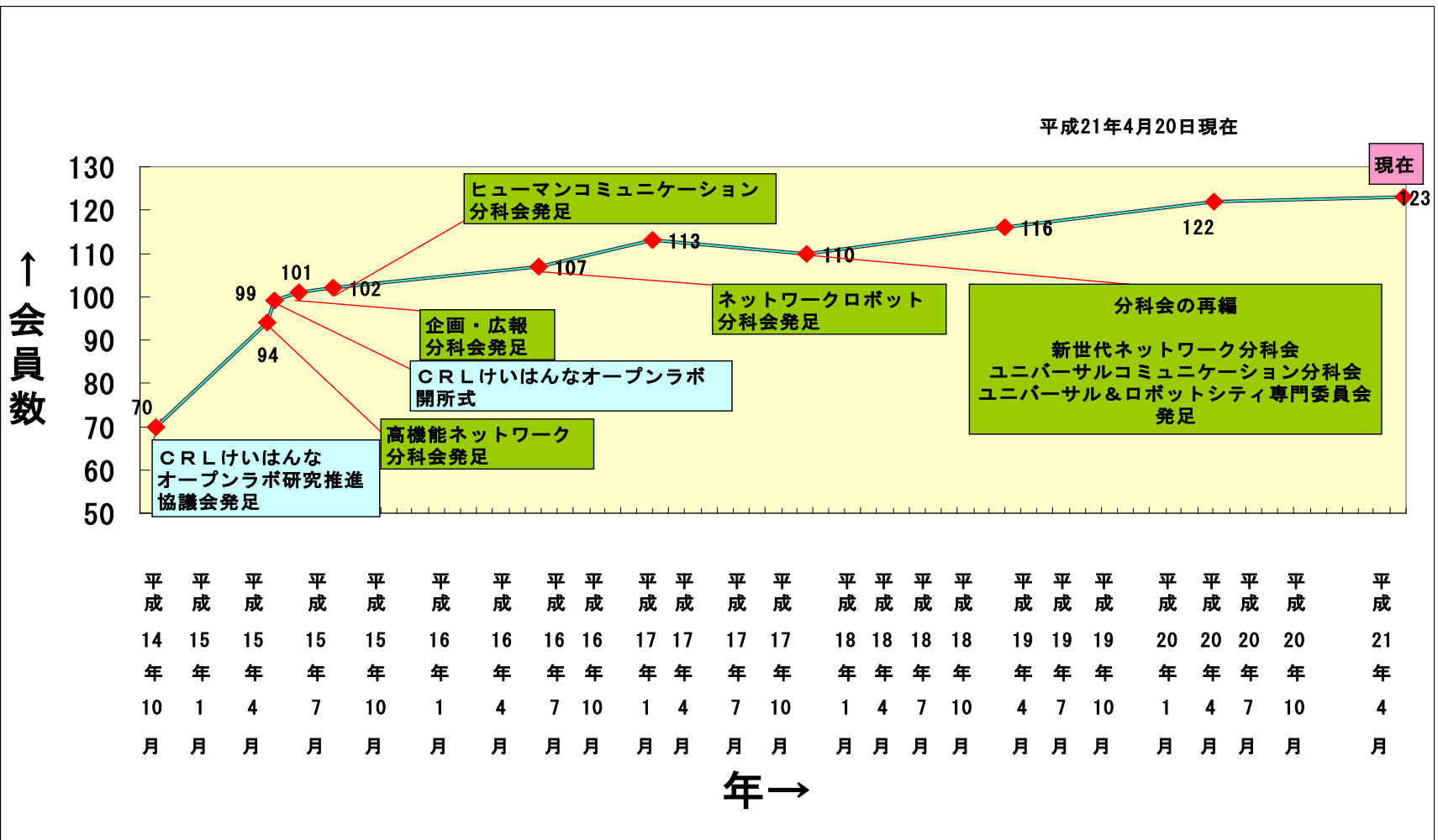
【協議会全体】

- けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2008開催<11月27日>
- けいはんな情報通信オープンラボワークショップ2009開催<3月6日>
- ユニバーサルコミュニケーション国際シンポジウム2008共催
<12月15日~16日>
- 第3回日中韓ロボット研究者交流ワークショップ共催<9月30日>

【分科会活動(研究系)】

- ◇ 10GE-LANPHY over OTNトランスペアレント転送方式が、OTU4のクライアント信号の一つとして、標準方式に昇格した(ITU-T)。
- ◇ 4 x 10GE-LANPHY over 40GベースOTN信号方式が、ODU3e1/OTU3e1方式として、ITU-T G.sup43への文書化が合意された。
- ◇ 「TR-J190ホームネットワークのアーキテクチャ概要」と題するTTC技術レポートの発行に寄与(ホームネットワークWG)。
- ◇ 次世代ホームネットワーク実証実験の実施(2月25日~27日)。
- ◇ 2次元通信WGに4つのタスクフォースを設立し、電磁環境(EMC)、通信方式、システム、アプリケーションの研究開発が本格化。

オープンラボの7年の歩み



平成21年度運営・研究部会のスケジュール(案)

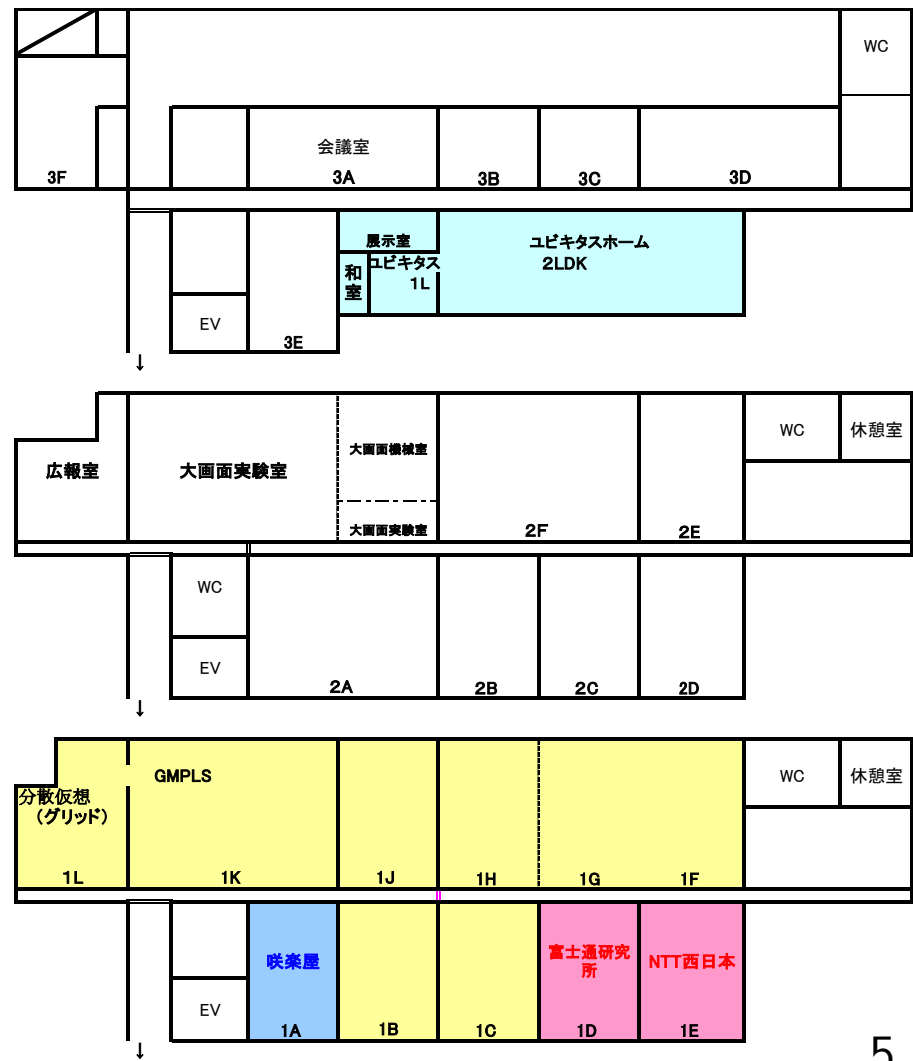
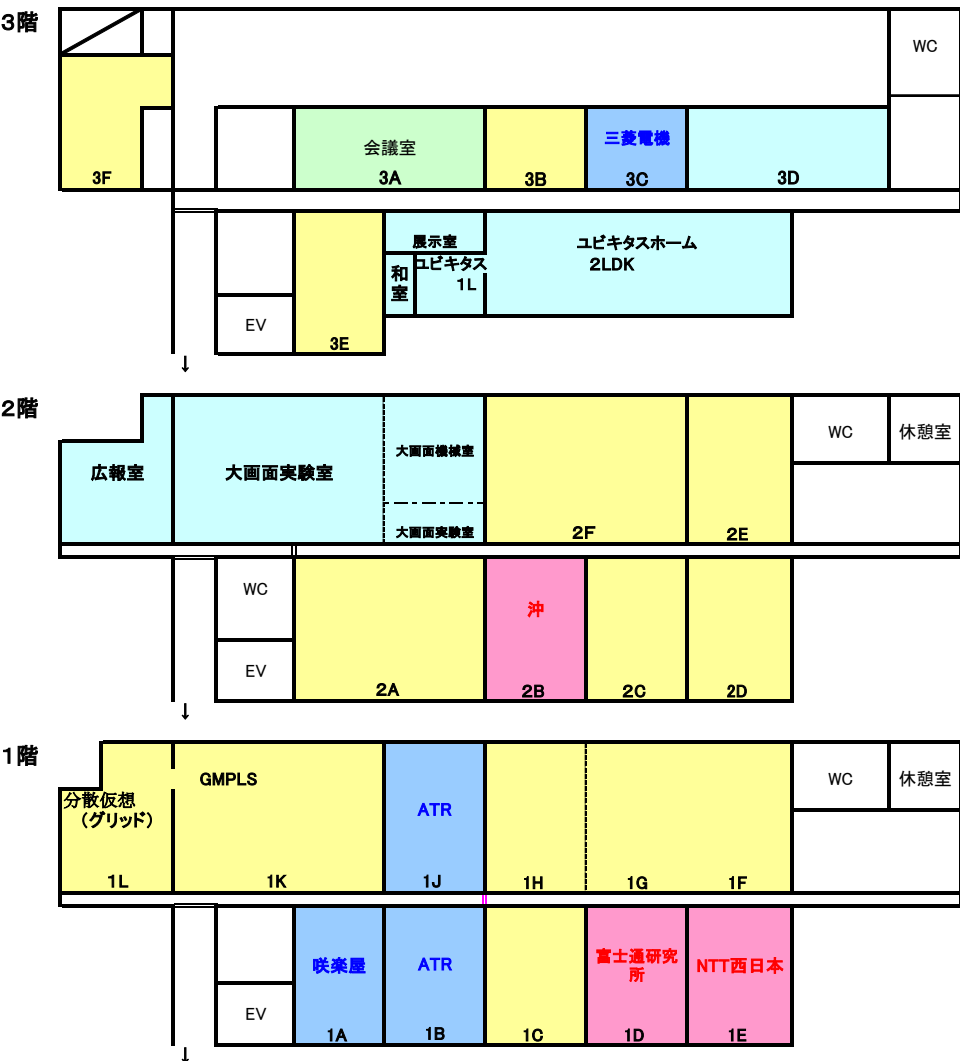
	平成21年度 4月	7月	10月	1月	平成22年度 4月
協議会総会	▲ 第8回総会 5/26				▲ 第9回総会5月予定
運営・研究部会	▲ 第9回部会 4/28				▲ 第10回部会4月予定
	→ 研究開発プロジェクトの企画		→ 研究活動への支援		
分科会	▲	→ 企画・広報分科会: 研究開発プロジェクトの企画、研究交流, 研究活動推進を支援 マスメディア等を有効活用し、ニュース性のある情報をリアルに発信			
	▲	→ 研究系分科会: 研究開発プロジェクトの推進等			
シンポジウム・ 実証実験等	★	人材育成セミナー	★		研究発表会
			★ ★		★
			協議会主催 シンポジウム	ユニバーサルコミュニケーション 国際シンポジウム	

オープンラボ施設の変更

H20年度までのオープンラボ施設



H21年度からのオープンラボ施設
(1階と3階ユビキタスホームが対象)



H20年度オープンラボ利用状況①

<新世代ネットワーク>

	プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
	光3R機能による長距離伝送実験	三菱電機株式会社	3	<ul style="list-style-type: none"> ・全光3R機能を有するフォトニックな波長変換器、フォーマット変換による長距離伝送方式を検証し、全光通信ネットワーク網に向けた研究開発を行う。 ・量子暗号通信の通信路として、既設光ファイバ網を使用し試験する。鍵配信の高速化、ネットワーク的な見地からの検討を行い、実用化への足がかりとする ・超高精細コンテンツ利用デジタルシネマシステム評価実験。
	次世代コンテンツディストリビューションネットワーク基盤技術の研究開発	有限会社咲楽屋	4	<ul style="list-style-type: none"> ・高速・高信頼性分散データ共有技術の研究開発 ・クラスタシステムから広域ネットワークまでスケラブルなコンテンツディストリビューションネットワーク構築技術の研究開発 ・マルチメディアコンテンツを対象とした応用システムの研究開発
	超高速ギガビット無線LANの研究開発	株式会社 国際電気通信基礎技術研究所	20	超高速ギガビット無線LANの研究開発」プロジェクトにおいて、各ユニットの結合試験を行い、全体システムとして性能・機能確認の実証試験を行う。
富士通株式会社				
沖電気工業株式会社				
計	3	5	27	

H20年度オープンラボ利用状況②

<ユニバーサルコミュニケーション>

	プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
共同研究	日中英対訳コーパス作成技術の開発	株式会社富士通研究所	3	中国語形態素解析エンジンの改良を行い、北京大学コーパスのタグセットの学習データからChinese Penn Treebankのタグセットの形態素解析結果が出力可能となった。また、これまで形態素解析済みの文しか入力できなかった中国語構文解析エンジンを中国語形態素解析エンジンと連結させ、汎用パーサを開発した。
共同研究	大規模非定型文書からの情報抽出の高度化	沖電気工業株式会社	3	本研究では、Web文書から用語を獲得して情報抽出用の辞書を構築し、実用システムに対してその辞書を継続的に供給することにより、実用システムの利用者の満足度を向上させる手法を提案・開発することを目的とする。 また、Web文書などのテキスト情報を解析して、対話形式に再構成することにより、多様な情報を容易に収集できるプロトタイプシステムを開発することを目的とする。
共同研究	日中英対訳コーパス作成技術の開発	株式会社富士通研究所	5	特許や新聞など特定分野における日中、日英、英中対訳コーパスを高速高精度に作成するための要素技術として、中国語の解析技術を開発する。
	デジタルシネマのODS配信に関する実証実験	西日本電信電話株式会社	8	デジタルシネマにおいて、ODS(Other Digital Staff: 映画以外のコンテンツ上映)がデジタル化の有力な付加価値と言われている。しかし、超高精細映像を商用ネットワークで伝送するための技術課題も散在しており、これの解決・実用化へつなげることを目的とする。
	立体ハイビジョン伝送実験	エフ・イー・システム・エンジニアリング株式会社	10	JGN2plusを用いて、けいはんな研究所とサンケイプラザ(東京大手町)を接続し、公開実証通信実験を行い、HDV立体ハイビジョン伝送方式を実用レベルで確認した。
計	5	5	29	

H20年度オープンラボ利用状況③

<ユニバーサル&ロボットシティ>

	プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
	通信ネットワークを用いた情報家電の接続検証	独立行政法人情報通信研究機構	3	けいはんな情報通信オープンラボ施設であるユビキタスホームにおいて、通信ネットワークを用いた情報家電の接続実験を行い、その有用性やユーザビリティ等を検証することを目的とし、OSGi技術とUOPF技術の連携による、情報家電の高度利活用技術に関する連携技術基本検証により、その有用性を確認した。
計	1	1	3	